

秋のグルメまつり

三陸ぐるっと食堂 in KAMAISHI×B-1グランプリ

9月28日、29日 [大町広場周辺]

沿岸各地で開催している三陸ぐるっと食堂が釜石で開催。県内15団体、県外2団体のご当地グルメを楽しみに来場した家族連れや、隣接する市民ホールのラグビーワールドカップファンゾーン目当ての多くのラグビーファンなどでにぎわいました。



来場者はバリエーションに富んだ県内外のご当地グルメを楽しみました

まるごと味覚フェスティバル

9月21日、22日 [大町周辺]

昨年は台風の影響で1日だけの開催となりましたが、今回は好天に恵まれ2日間の開催となりました。ラグビーワールドカップのファンゾーンの開催も重なり、大町周辺は多くの来場者でにぎわいました。毎年恒例のサンマと郷土料理のお振る舞いは長蛇の列となり、来場者は青空の下、舌鼓を打ちました。



餅まきでは、新鮮な野菜もまかれました

東日本大震災津波伝承館オープニングセレモニー

9月22日 [東日本大震災津波伝承館 (陸前高田市)]



津波の破壊力を物語る気仙大橋の橋桁

国などが岩手、宮城、福島各県に一つずつ整備する国営の追悼・祈念施設が開館しました。館内は津波の歴史、津波の被害、教訓、復興と支援への感謝の分野別に四つのコーナーに分けられ、津波を知らない世代でも理解が深まるよう工夫されています。東日本大震災津波がいかに巨大で恐ろしいものであったかを伝える実際の映像や、沿岸各地に残る明治、大正時代などの津波記念碑の場所も調べることができます。



鵜住居小や釜石東中で被災した資料も展示されています



釣ったニジマスは、その場で炭火で焼いて食べました

橋野鉄鉱山インフォメーションセンター 入館者10万人達成

9月29日 [橋野鉄鉱山インフォメーションセンター]

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである橋野鉄鉱山の遺産価値を伝えるインフォメーションセンターが、平成25年11月の開館以来、平成27年7月5日の世界遺産登録決定を経て10万人の入館者を迎えました。10万人目となった黒沢尻北高2年の青木郁実さんは「橋野は自然に囲まれた場所で素晴らしい思い出になる。将来に生かせるよう学んでいきたい」と微笑み、高炉跡を見学しました。



山岳部の新人大会の帰りに思いがけず来館10万人目となった青木さん (右から2人目)



市全体で79カ所に1,858人の住民が避難し訓練に参加しました

地震・津波避難訓練

9月1日 [市内各所]

「防災の日」に合わせ全市民を対象に大地震と大津波を想定した避難訓練が行われました。午前7時過ぎに大津波警報が発令されると、避難場所に指定されている白山小学校校庭には近隣住民の他、大平中学校の生徒8人も避難し、避難経路や避難所などを再確認しました。

第27回釜石市ふれあい福祉まつり

9月7日 [釜石市民ホールTETTO]

障がいの有無に関わらず、誰もが触れ合える場を設け福祉の啓発活動の一助となることを目的に開催。市内や大槌町の福祉団体や作業所が出店し、お菓子やパン、手芸品やアクセサリなどを販売しました。会場では縁日や野菜販売コーナーもあり、子どもからお年寄りまで楽しみ、参加団体の日頃の活動について知ることができる良い機会となりました。



ステージでは、かまいしこども園虎舞などが披露され会場が笑顔であふれました

鵜住居川水門見学会

9月14日 [鵜住居川河口付近]

片岸海岸の防潮堤と鵜住居川水門の災害復旧工事の進捗状況の確認と、津波対策としての水門や防潮堤の役割を理解するため、現場見学会が開催されました。はじめに高さが震災前の6.4mから14.5mにかさ上げされた防潮堤を見学。水門設備は令和2年3月の完成を目指し、現在工事が進められています。住民は間近で見る水門の大きさに驚きつつ、避難の大切さを再認識しました。



県の担当者は、ハードが整っても一番大切なのは高台に逃げることでと話しました

みなとオアシス釜石 登録証授与式

9月14日 [魚河岸テラス]

釜石港の景色を一望できる魚河岸テラスが、港のにぎわい拠点となる「みなとオアシス」に国土交通省から認定を受けました。県内では4カ所目の登録で、釜石の海と魚の魅力向上がますます期待されます。目の前の釜石港では、夏は納涼花火、秋は曳き船まつりも開催。四季を通じたイベントも企画され、地元食材を使った食事など五感で楽しめるオアシスを目指します。



釜石港を背に登録証を手にする (左から) 国土交通省港湾局高田昌行局長、鈴木俊一衆議院議員、野田市長

鵜住居まつり

9月15日 [鵜住居神社周辺]

慰霊の場や津波伝承施設、商業施設、住宅などが立ち並び、復興を実感できるようになってきた鵜住居地区で、鵜住居神社の神輿渡御が行われました。沿道や御旅所にはたくさんの方が詰めかけ、威勢のいいお囃子と華麗な舞に歓声を上げました。御旅所で奉納した虎舞や鹿踊り、大黒舞などの各団体では、小さな子どもも郷土芸能の担い手として踊りに加わり、郷土愛を育みました。



寺前交差点付近の御旅所で奉納する鵜住居虎舞

敬老会

9月16日 [釜石市民ホールTETTO]

喜寿 (77歳)、米寿 (88歳)、卒寿 (90歳) を迎えた皆さん (対象1,040人) を招待し、敬老会は開催されました。文化琴の柔らかな音色が響く会場で、約260人の参加者は、記念写真を撮ったり、お茶のおもてなしを受けながら旧友との話に花を咲かせました。式典では、釜石芸能連合会による踊りや平田青虎会の虎舞、釜中ソーランが披露され、参加した皆さんの長寿を祝いました。

※7月31日現在 65歳以上の高齢化率 39.1% (昨年度38.4%)

※9月1日現在 100歳以上の高齢者 20人



令和初となった敬老会。互いの健康、長寿を喜び合いました